

手術説明・同意書

下甲介化学剤手術（両側下甲介粘膜焼灼術）

説明内容

□ 上記医療行為の実施内容・目的および必要性について

アレルギー性鼻炎に対して症状軽減のため上記治療をおこないます。

この手術の利点は ・入院の必要がないこと

・副作用が少ないこと

・多くの場合は効果が数年間持続すること

症状改善度は、鼻閉に対しては72%、水様性鼻汁に対しては約60%、くしゃみに対しては約50%です。

鼻内に強い鼻中隔彎曲症（鼻の真ん中の壁の曲がり）、鼻の狭い人は**本手術が困難あるいは不可能な場合があります。**

□ 方法

手術前にスプレーとガーゼで鼻内粘膜に局所麻酔を行なった後、80%トリクロール酢酸で下甲介を焼灼します。診察と同様に座って行います。

麻酔時間は15分、手術時間に5分くらいかかります。その後はすぐに帰宅できます。

当日は鼻をかまらずに鼻水はティッシュで拭きとる程度にしてください。翌日からはよく鼻をかんでください。（手術当日にもう一度説明いたします。）

□ 危険性・合併症・副作用

この手術の危険性については、現在まで特に報告されておりません。治療を行ってから一過性に鼻閉が強くなりますが、約三週間で症状改善がみられます。

合併症としてごく稀に鼻粘膜の癒着があります。追加手術が必要なこともありますが、通常は外来処置で対応できます。

副作用としては術後に痛みがあることがありますが、鎮痛薬で対応できます。

※局所麻酔を使用しますので過去に局所麻酔で気分が悪くなったことがありましたら、あらかじめお知らせください。

以上につき、重大な障害を起こさぬよう十分注意します。

もし、上記及び他の合併症を生じた時は、早期に適切に対処する努力をいたします。

医師の説明に対し十分ご理解いただけましたら、以下に署名をお願いします。

以上 私は 患者 _____ 様の上記医療について説明いたしました。

平成 年 月 日

都川耳鼻咽喉科 院長 都川 知之

患 者 氏 名 _____